

地域シリーズ：『小山二ノ講』と牛尾道

京都市山科区と大津市との境にある音羽山から京都方面に流れる音羽川は、牛尾山法厳寺に通じる牛尾道に沿って小山地域を流れ山科川となります。牛尾道はハイキングコースとしても有名で、沿道には地域の産土神である白石神社や水車小屋、蛙岩、音羽の滝など見どころがたくさんあります。毎年2月9日には小山地域で小山二ノ講が行われ、藁で作った長さ13メートルの大蛇が音羽川べりの「山の神の山の前」に掲げられています。そこで『小山二ノ講』を見て牛尾道を巡りましょう。

《ご紹介》

山科盆地の北東部に位置する小山地域では、毎年2月9日に小山二ノ講（二九）という伝統行事が行われる。今年の二ノ講は雪の降る中で始まった。小山の旧家約20軒で構成される小山二ノ講保存会の皆さんが早朝から小山総合センターに集まり、藁を網状に編んで長さ13メートルもの大蛇（勸請縄）を作る。太い竹に胴体を巻き付け、目にはみかんを用い、大きく開けた口を赤く着色して甘酒を飲ませる。そして、割竹を削って輪にしたものに櫛・松・御幣を付けた足を13作り、そのうち12を胴体に吊り下げて完成だ。午後お祓いをした後、この大蛇を担いで区内を練り歩き、音羽川べりの「山の神の山の前」まで運んで、牛尾山に向けて杉の木に掲げる。13個目の足は音羽川の水源地とされる場所まで持ち運び、木の枝に吊り下げて行事は終わる。この日は、大蛇を飾る柱が根元から倒れるトラブルがあったが、参加者が協力して無事掲げ、五穀豊穡や無病息災を祈った。この大蛇は来年の二ノ講まで現地に掲げられる。

小山二ノ講は、鎌倉後期の1313年、牛尾山の麓に生息していた大蛇を退治したことで大雨洪水が度々起こり、霊を鎮めるため藁の大蛇を祀ったことが由来とされ、京都市の無形民俗文化財に登録されている。大蛇の口を赤く塗るのは、人や動物を喰ったことを表しているという。この大蛇伝説では、大蛇の血が音羽川を赤く染め、東山にある清水寺の音羽の滝が一日一夜赤く染まったという。

➤ 小山二ノ講



➤ 『小山二ノ講』催行場所と旧東海道線の位置



(※国土地理院地図に加筆)



(※正式地形図【大正元年】に加筆)

冬木立
藁の大蛇に
紅をさし

小山地域への最寄り駅は京阪追分駅。駅の南側の国道1号をくぐって旧東海道を西に行き、髭茶屋追分で奈良街道をしばらく行くと「牛尾山道」の道標が現れる。ここから東が牛尾道。この道を東に行き、名神高速をくぐると二ノ講が行われる小山地区になる。

牛尾道はかつては法嚴寺に行く道として賑わったといい、今も音羽山や上醍醐につながるハイキングコースとして親しまれている。道沿いの音羽川には、水車小屋や蛙岩、音羽の滝、蛇壺など見どころがいくつもあり、その先に牛尾山法嚴寺がある。

法嚴寺は、清水寺の開山として知られる延鎮上人が778(宝亀9)年に創建したとされる。本尊は天智天皇作と伝わる十一面千手観音菩薩像。脇壇には延鎮上人、行叡居士の像が安置されている。江戸時代には清水寺との所縁から「清水寺の奥の院」と呼ばれたが、明治になって廃仏毀釈により荒廃した。江戸時代に建った本堂は京都府暫定登録有形文化財だ。

小山地域を南北に走る名神高速は、かつては東海道線のルートであった。1879(明治12)年に営業を始めた当初の東海道線は、京都駅を出ると現在の奈良線を通して稻荷山を迂回し、深草で名神のルートに乗って大谷駅(現在の京阪大谷駅付近)、馬場駅(現、膳所駅)へとつながっていた。この路線は1921(大正10)年に廃線となり、廃線跡を利用して1963(昭和38)年に名神高速が開通した。そこで、小山から名神の脇道を通して東海道(国道1号)に合流し、京阪京津線の大谷駅から上柴町駅まで旧東海道線逢坂山隧道(トンネル)跡を巡った。大谷駅を北へ行くと名神のトンネル入口近くに「旧東海道線 逢坂山とんねる」(西口跡地)の石碑が建っている。この隧道の東口は、京津線と国道1号が交差する逢坂一丁目の西にある。ここには隧道の入口部分が残っていて、京大防災研究所が地震観測所として

➤ 牛尾道
地域の産土神の白石神社



水車小屋



➤ 法嚴寺



黒門



本堂

➤ 旧東海道線

旧東海道線逢坂山隧道跡



逢坂山隧道跡から大津方面を見る



➤ 関蟬丸神社・下社



溪流に
雪積もりたる
岩蛙

牛尾道にて

利用している。この隧道の西口は名神高速のトンネル西口とほぼ同じだが、東口は名神より大きく北に振れており、当初の東海道線は逢坂山を斜めに貫通していたことが分かる。

逢坂山を東海道(国道1号)で越えると、途中で逢坂山関跡や、盲目の琵琶法師・蟬丸を主神とし音曲芸道の祖神として崇められる蟬丸神社の上社・下社・分社が建ち、逢坂山の深い谷あいにてきた街道としての歴史を感じることができた。